

UNIT 11

EXERCISES

《解答》

- A (1) sleeping on the sofa [couch] (2) the [a] stadium built [constructed]
(3) a decision [resolution] to study (4) have, nothing to do
- B (1) the rumor that Kakeru broke up with
(2) a chance to see Mr. Brown because of
(3) someone to teach us how to (4) This is the restaurant featured in
(5) lend me something to write with
- C (1) a plan to cycle [bike] around Shikoku / a plan to tour [travel around] Shikoku by bicycle
[bike]
(2) bought a watch made in (3) the last person to leave this room
(4) the girl wearing a different school uniform
- D (1) A [The] couple sat [was sitting] on the bench watching [looking at / gazing at] the
setting sun. /
A [The] couple sat [was sitting] on the bench watching [looking at / gazing at] the
sunset.
(2) The boy (who is) waving (his hand) to us at the school gate(s) is my cousin.
(3) George has a dream to be [become] a vet. /
George has a dream of being [becoming] a vet.
(4) There is a rumor that a new student will come to this class.
(5) I have to [must] buy a guidebook to take [bring] on my trip.

《和訳》

- A 空所を補って文を完成させなさい。
- B カッコ内の語句を使って文を完成させなさい。
- (1) カケルがナンシーと別れたといううわさを聞きましたか。
(2) 私はインフルエンザのために、ブラウン氏と会う機会を逃した。
(3) 私たちには、この機械の使い方を私たちに教えてくれる人が必要だ。
(4) これがその雑誌で特集されていたレストランだ。
(5) 何か書くものを貸していただけませんか。
- C 以下を英語で表現し、文を完成させなさい。
- D 以下を英語で表現しなさい。

《解説》

A

- (1) 2. 名詞＋現在分詞句

「ソファで寝ている子イヌ」という内容を表すために、〈名詞＋現在分詞句〉を用いる。名詞 puppy は与えられているので、それを後ろから修飾する「ソファで寝ている」にあたる現在分詞句を組み立てる。

(2) 3. 名詞＋過去分詞句

「オリンピックのために建設された競技場」という内容を表すために、〈名詞＋過去分詞句〉を用いる。空所の後に **for the Olympics** があるので、3 つ目の空所にはそれを伴う「建設された」という意味の過去分詞が入ることがわかる。

(3) 6, 7. 同格の不定詞（形容詞的用法）

「勉強することを決意した」という内容を表すために、同格の不定詞を用いる。まず、空所の前が **made** であることから、「決意した」にあたる **made a decision [resolution]** を組み立てる。その後不定詞の形容詞的用法として **to study** を続けると、空所後の **English** が **study** の目的語となって文意が通る。**decision [resolution] = to study English** という同格の関係。

(4) 5. 名詞＋不定詞が〈V＋O〉の関係

1 つ目の空所後に **absolutely** があるので、**don't have** の形を用いることはできない。1 つ目の空所に **have** を入れ、**nothing** を目的語にする。**nothing** の後には不定詞の形容詞的用法として **to do** を続けると文意が通じる。**absolutely** は否定語（この場合は **nothing**）の前にある場合「まったく（～ない）」という全否定を表す。

B

(1) 8. 同格の **that** 節

語群内で、**Nancy** につながるのは **Kakeru broke up with** の可能性が高い。次に、語群内で残った **the rumor** と **that** を **the rumor that** という順序にすると、**that** 以下が **rumor** の具体的な内容を表す同格の名詞節になる。全体は「カケルがナンシーと別れたといううわさを聞きましたか。」という意味になる。**break up with** ～は「～と別れる」という意味。

(2) 6, 7. 同格の不定詞（形容詞的用法）

missed の目的語になる可能性があるのは、語群内では **Mr. Brown** と **a chance** だが、前者は **see** の目的語にするほうがよいとわかる。まず、**a chance to see Mr. Brown** と並べる。語群の残りを **because of** として後に続けると、**the flu** とうまくつながる。**to see** 以下が **chance** の具体的な内容を表す。全体は「私はインフルエンザのために、ブラウン氏と会う機会を逃した。」という意味になる。**flu** は「インフルエンザ」という意味で、通常 **the flu** と定冠詞を伴う。

(3) 4. 名詞＋不定詞が〈S＋V〉の関係

語群前の **need** の目的語になるのは **someone** か **us** だが、意味を考えると **someone** が適当だと推測できる。後に **to teach us** と続けると、**someone** と **teach** が意味上の〈S＋V〉の関係になる。**how to do** で「どのように～すればよいか」という意味。全体は「私たちには、この機械の使い方（←この機械をどのように使えばよいか）を私たちに教えてくれる人が必要だ。」という意味になる。

(4) 3. 名詞＋過去分詞句

語群内で主語になりうるのは **the restaurant** と **this**、述語動詞になりうるのは **featured** と **is** である。最後の **the magazine** から、**feature** はこの文では「～を特集する」という意味の他動詞だと考えられる。〈名詞＋過去分詞句〉を用いて、**the restaurant featured in (the magazine)** とし、残りの **this** と **is** を文頭にもつてくると文意が通る。全体は「これがその雑誌で特集されていたレストランだ。」という意味になる。**The restaurant is featured in** とすることも考えられるが、語群の **this** が余ってしまうので不可。

(5) 5. 名詞＋不定詞が〈V＋O〉の関係

語群前の *Could you* に続くものは *write* か *lend* である。 *Could you lend ~?* とすると、後を *me something to write with* と続けると全体が「何か書くものを貸していただけませんか。」となり文意が通る。 *something to write with* は「それで書く何か→書くもの→筆記用具」のこと。 *Could you write ~?* とすることも考えられるが、後が *me something to lend with* となり、文意が通らないので不可。

C

(1) 6, 7. 同格の不定詞 (形容詞的用法)

「～する計画」は不定詞の形容詞的用法を用いて、 *a plan to do* で表す。「自転車で四国を回る」は *cycle [bike] around Shikoku*, あるいは *tour [travel around] Shikoku by bicycle [bike]*. *tour* は自動詞の用法もあるが、他動詞で「～を回る」という意味を表す。

(2) 3. 名詞+過去分詞句

「スイス製の腕時計」は下線部後の (*in*) *Switzerland* に続くように〈名詞+過去分詞句〉を用いて、 *a watch made in (Switzerland)* とする。なお、 *Switzerland* が与えられていなければ、 *a Swiss-made watch* と表現することもできる。

(3) 4. 名詞+不定詞が〈S+V〉の関係

「最後に～する人」は不定詞の形容詞的用法を用いて、 *the last person to do* で表す。 *person* は省略可能。「この部屋を出る」は *leave this room*.

(4) 2. 名詞+現在分詞句

「～を着ている女の子」は〈名詞+現在分詞句〉を用いて、 *the girl wearing ~* で表す。関係代名詞の主格 *who* を用いることも可能だが、 *Who* から始まる疑問文なので *who* を繰り返すのは冗長になる。現在分詞の後置修飾を使うほうがよい。「私たちとは違う制服」は下線部後の *from us* と組み合わせて *a different school uniform (from us)* とする。なお、 *from us* が与えられていなければ、「私たちの制服とは違う制服」と考えて *a school uniform different from ours* と表現することもできる。

D

(1) 1. 1 語の現在分詞+名詞

主語の冠詞は *A* と *The* のどちらも可能。「眺めながら」は〈同時〉を表す分詞構文で表す。ここでの「眺める」は意識的に目を向けることなので、 *see* は不適切。 *watch* もしくは *look [gaze] at* を用いる。「沈みつつある太陽」は〈1 語の分詞+名詞〉で *setting sun* と表すか、名詞で *sunset* 「日没」と表すこともできる。

(2) 2. 名詞+現在分詞句

主語は *the boy* なので、関係代名詞節あるいは現在分詞句で後ろから *the boy* を修飾するという組み立てになる。「～に手を振る」は *wave (one's hand) to ~* で表す。「校門のところ」は *at the school gate*。もし門が両開きなら複数形の *gates* になる。

(3) 6, 7. 同格の不定詞 (形容詞的用法)

「～するという夢」は *a dream to do* あるいは *a dream of doing* で表す。「獣医」は *AmE* では *veterinarian* [vətərɪnéəriən], *BrE* では *veterinary surgeon* が使われるが、一般的には語注にあるように短縮形の *vet* がよく用いられる。「～になる」は *be* または *become*。

(4) 8. 同格の *that* 節

「～するといううわさがある」は同格の *that* 節を用いて、 *There is a rumor that ~* で組み

立てる。「転校生」は「新しい生徒」と考えて語注のように **new student** と表すのがよい。

(5) 5. 名詞＋不定詞が〈V＋O〉の関係

まず **I have to [must] buy a guidebook** を組み立てて、その後に不定詞の形容詞的用法を続けるとよい。have to と must には違いもあるが、ここではどちらも可能。「旅行に持って行く」は **to take [bring] on my trip** で表す。× **to my trip** とはしないように注意。

Let's Try!

《解答例》

- ① (1) I heard a rumor that a new cat cafe will open near the station.
(2) If that is true, I want to go there with my friends.
- ② I heard a rumor that a new cat cafe will open near the station. If that is true, I want to go there with my friends. (26 words)

《和訳》

- ① ペアを組んで、質問について話し合いなさい。
 - (1) あなたは最近何かうわさを聞きましたか。
例 新製品, 新しい店, 健康のコツ
 - (2) どう思いますか。
- ② 質問に 30 語程度で答えなさい。